総合

宿泊施設 固定資産税

評価基準見直しへ

政府 税制改正大綱に明記

政府は12月16日、2011年度税制改正大綱を閣議決定した。旅館団体などが要望活動を展開し、国土交通省（観光庁）が厚生労働省と共同で要望した旅館・ホテルの建物にかかる固定資産の評価基準の見直しは、「検討事項」として盛り込まれた。大綱に明記されたことで、実態調査などを経た検討の結果次第で、2012年度以降に評価基準が見直され、固定資産税の減税につながる可能性が出てきた。

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会、国際観光旅館連盟、日本観光旅館連盟などが展開した要望活動が実った。日観連の近兼孝休会長は「旅館業界の長年の懸案だったが、旅館3団体が一丸で取り組み、大きく前進した」と来年度からの検討に期待した。

税制改正大綱には、旅館・ホテルが「観光立国の観点から重要な役割を果たす」と位置づけられ、建物（家屋）にかかる固定資産評価について、「当該家屋の使用実態等を把握し、家屋類型間の減価状況のバランスを考慮するための実態調査等を行うなど、できるだけ速やかに検討を行う」と明記された。

建物にかかる固定資産税は市町村税だが、総務相が告示する評価基準に基づいて算出される。税制改正大綱の記述は、評価基準の見直し作業を早期に進めることを意味する。記述にある「家屋類型間の減価状況のバランスを考慮」とは、旅館・ホテルの建物の使用実態を把握するだけでなく、他の用途の建物の減価の状況も調査して検討する方針を示したものとみられる。

旅館3団体は、評価基準の見直しに向けて「旅館業は建物自体が商品である装置産業のため、建物の改装、改築が頻繁に行われ、大変な経費を要する。建物の固定資産税は原則、再調達価格を算出根拠としており、何年経過してもその評価額は下がることなく、税負担が重くのしかかっている」と指摘し、要望活動を強化していた。【向野悟】

休暇改革

分散化に修正案

観光庁 秋のみ対象に再検討

観光庁は、休暇分散化の導入に向け、春と秋の大型連休を5つの地域ブロックに分散させる具体案を提示してきたが、有識者でつくる休暇改革国民会議（座長＝三村明夫・新日本製鐵会長）の提言などを踏まえ、秋だけを対象にした修正案を出すことを決めた。分散させる地域ブロック数を減らすことも検討する。

現行案に対しては、12月2日公表の内閣府の世論調査で反対意見が約56％を占めた。同16日に東京都内で開かれた国民会議の第2回会合でも、国民に定着している春のゴールデンウイークは動かさずに、秋に大型連休を創出し、分散させる案を検討するよう促す意見が出ていた。

観光庁は秋の大型連休の創出・分散化に絞って、地域ブロックの設定、生活や経済に生じる問題への対策などを再検討することにした。修正案は政府の観光立国推進本部などにはかった上で、3月に開かれる次回の国民会議に報告する予定。

指宿枕崎線

新観光列車を運転

JR九州 来春ダイヤ改正で

JR九州は来年春のダイヤ改正で、鹿児島県を走る指宿枕崎線に新しい観光特急「指宿のたまて箱」を運転する。鹿児島中央駅～指宿駅を1日に3往復する。山陽・九州新幹線「みずほ」、新下関と博多発着の「さくら」に接続し、指宿観光の利便性を向上させる。

指宿のたまて箱は、指宿の浦島太郎伝説をモチーフに、車両の色を左右非対称の黒と白にした。玉手箱にちなんで、ドアが開くと煙に見立てたミストが噴き出るよう演出する。

また、4月29日には熊本内を走る豊肥本線の熊本駅～宮地駅に特急「あそぼーい」（4両編成）を新設。当面3両の運転で、夏ごろには子どもが遊べる遊具が設置されたファミリー車両が連結され4両運転となる。3～11月の土・日・祝日や春夏休み、ゴールデンウイークを中心に、1日2往復運転する。

JAPAN SPECIALIZED NEWSPAPERS ASSOCIATION
あらゆる産業分野から厳選された専門新聞・通信社95社が加盟
読者総数 1,200万人
社団法人 日本専門新聞協会
加盟紙 ㈱観光経済新聞社
〒105-0001
東京都港区虎ノ門1-2-12 第2興業ビル
TEL03-3597-8881 FAX03-3508-8888
www.senmonshinbun.or.jp/

じゃらん人気温泉地調査

箱根が5年連続1位に

リクルート・旅行カンパニー内の研究・調査機関「じゃらんリサーチセンター」（JRC、沢登次彦センター長）は12月14日、リクルート運営の総合宿泊予約サイト「じゃらんネット」の予約者を対象に行った、温泉地利用に関するアンケート調査の結果を発表した。「これまでに行ったことがあるうち、もう一度行ってみたい温泉地」の第1位は、同調査開始以来5年連続で箱根温泉（神奈川）だった。交通の便の良さや自然に囲まれた環境などで支持を集めた。

もう一度行ってみたい温泉地の2、3位にはそれぞれ昨年と同様に由布院温泉（大分）、草津温泉（群馬）がランクインした。20位以内を見ると、乳頭温泉郷・田沢湖温泉（秋田）が4つ順位を上げ11位となったほか、層雲峡温泉（北海道）が9つ順位を上げて19位に。このほか道後（愛媛）、下呂（岐阜）、城崎（兵庫）などが順を上げた。

上位6位までの温泉地を支持する理由として、いずれも多かったのは「街の雰囲気が好きだから」「温泉の効能や泉質が気に入っているから」。特に1位の箱根は、回答者の約4割が関東・甲信越の居住者であることもあってか、「手ごろな料金で行けるから」「交通の便が良いから」などの支持も集めた。

同調査ではこのほか、まだ行ったことはないが一度は行ってみたい温泉地を聞いた「全国あこがれ温泉地ランキング」、過去1年間に行ったことがある温泉地のうち、満足した温泉地を聞いた「全国満足度ランキング」も実施。あこがれ温泉地は、1位が由布院温泉、2位が草津温泉、3位が登別温泉（北海道）。満足度ランキングのうち来訪者30人以上の温泉地を対象にした「一般温泉地部門」は、1位が野沢温泉（長野）、2位が奥飛騨温泉郷（岐阜）、3位が南阿蘇温泉郷（熊本）、30人以下の温泉地を対象にした「秘湯部門」は、1位が小田・田の原・満願寺温泉（熊本）、2位が下風呂・薬研温泉（青森）、3位が白金温泉（北海道）だった。

調査はインターネットで10年9月1～20日に実施。3605人から回答を得た。

もう一度行ってみたい温泉地

順位	昨年順位	温泉地名	都道府県
1	1	箱根温泉	神奈川
2	2	由布院温泉	大分
3	3	草津温泉	群馬
4	4	登別温泉	北海道
5	6	道後温泉	愛媛
6	5	別府温泉郷	大分
7	7	黒川温泉	熊本
8	8	指宿温泉	鹿児島
9	10	下呂温泉	岐阜
10	11	城崎温泉	兵庫
11	15	乳頭温泉郷・田沢湖温泉	秋田
12	14	奥飛騨温泉郷	岐阜
13	16	洞爺湖温泉	北海道
14	13	定山渓温泉	北海道
15	9	有馬温泉	兵庫
16	17	鬼怒川温泉	栃木
17	19	霧島	鹿児島
18	12	熱海温泉	静岡
19	28	層雲峡温泉	北海道
20	20	和倉温泉	石川

は順位を上げた温泉地

じゃらんネットとトリップアドバイザー 国内宿泊予約で提携

世界最大の旅行クチコミサイト「トリップアドバイザー」の日本法人であるトリップアドバイザー（山本考伸代表取締役）は12月17日、リクルート運営の総合宿泊予約サイト「じゃらんネット」とこのほど国内宿泊施設の予約業務で提携したと発表した。

提携により、トリップアドバイザーの国内宿泊予約施設のクチコミページとじゃらんネットの予約ページをリンク。宿泊したい施設のプランや料金を確認、予約できるようにした。

じゃらんネットと提携することで、トリップアドバイザーの利用者は、じゃらんネットに掲載されている、約2万軒の宿泊施設の95万件以上の宿泊プランをより手軽に予約できるようになる。「ユーザーにはこれまで以上に幅広い選択肢を、じゃらんネットには、成約率の高いトラフィックを提供できると考えている」と山本代表。同社では今後も国内旅行予約サイトとの連携強化を進めていく考えだ。

観光関連団体

2011年の総・大会日程

▽日本観光旅館連盟＝6月24日、東京・京王プラザホテル
▽国際観光旅館連盟＝6月14日、東京・インターコンチネンタル東京ベイ
▽全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会＝総会・6月6日、東京・浅草ビューホテル、大会・6月7日、東京・ホテルオークラ東京
▽日本ホテル協会＝3月17日、東京・ホテルオークラ東京
▽全日本シティホテル連盟＝6月20日、東京・ホテルグランドパレス
▽JTB協定旅館ホテル連盟＝6月8日、千葉・シェラトングランデ東京ベイホテル
▽近畿日本ツーリスト協定旅館ホテル連盟＝2月16日、東京・シェラトン都ホテル東京
▽日本旅行協定旅館ホテル連盟＝2月24日、東京・ホテルメトロポリタン
▽トップツアー協定旅館ホテル連盟＝4月8日東京・九段会館
▽JRグループ協定旅館ホテル連盟＝6月10日、東京・ホテルメトロポリタン
▽タビックスジャパン協定連盟＝4月24日、北海道湯の川温泉・花びしホテル
▽東武トラベル協定旅館連盟＝2月24日、東京・東武ホテルレバント東京
▽読売旅行協定旅館ホテル連盟＝7月11日、東京・京王プラザホテル
▽農協観光協定旅館ホテル連盟＝6月30日、東京・東京ドームホテル
▽日本観光協会＝6月9日、東京・東京プリンスホテル
▽日本温泉協会＝6月中旬、山梨・湯村温泉
▽日本旅行業協会＝6月16日、東京・経団連会館（予定）
▽全国旅行業協会＝6月22日、東京・ホテルラフォーレ東京
▽日本添乗サービス協会＝3月17日、東京・メルパルク東京
▽国際観光日本レストラン協会＝2月23日、東京・東京ビッグサイト
▽国際観光施設協会＝6月15日、東京（場所未定）
▽日本バス協会＝6月15日、東京・経団連会館

シャッター通り再生計画の視点

和歌山大教授 足立 基浩氏

再生のかぎは 3Sと家賃改革

地方都市の中心市街地がさびれ「シャッター通り」になり社会問題化している。『中心市街地再生のためのまちづくりのあり方について』（アドバイザリー会議報告書、05年）によると、中心市街地活性化基本計画を策定した121市町村のうち、商店数・年間販売額・事業所数を減らしたところが全体の9割を超えた。

98年から00年にかけ、相次いでまちづくり関連3法が改正され、郊外型店舗の立地規制緩和策が実施された。これは、郊外型店舗の出店を簡略化し、一方で地元商店が受ける影響を最小限にとどめるためにイベントなどの補助金を中心市街地に提供するシステムといえる。しかし、郊外型店舗が及ぼす中心市街地へのダメージは予想以上に大きかった。

地理的に日本と変わらないイギリスでは両者のすみ分けができて、依然、中心市街地もにぎわっているのに、違いはどこにあるのか。

イギリスの都市計画では、開発の優先順位をつけて、中心市街地をその上位に定めるPPS4という計画指針が示されている。日本でもこれを導入すべきであるが、日本の場合こうした制度改革には時間がかかりそうである。では、どうしたらよいのか。

著者が今最も重視しているのが、中心市街地活性化における「3つのS」という視点だ。著者は都市の最終目標を「価値の増大化」とし、中でも個性的な価値（センチメンタル）、つまり都市への愛着の価値の増大を掲げた。

続いて、地域の実情にあった状況調査（サーベイ）、また変化の絶えない経済環境の中でのリスク管理（セキュリティー）を徹底的に行うべきと指摘した。

この3つの視点が重要なのは、著者がこれまで訪れた調査対象地での経験による。

他の都市の成功例は、よほど状況が似ていない限り真似してはならない。真似した段階で市民の愛着と「個性」を失うからだ。歴史の眠る中心部の商店街は仮に地元住民の集客が困難でも、観光客は呼べる可能性が高い。

観光客を集めるのは、実は郊外型店舗の最も苦手な部分なのだ。実際、滋賀県長浜市など成功例といわれる商店街の多くは、大都市近郊という条件はあるものの観光化に成功したケースが圧倒的に多い。

3つのSを念頭にしつつ、3番目のS（セキュリティー）のリスク管理と関連する新たな制度として提案したいものがある。それは、シャッター通りの「応益家賃システム」の導入。これは、最初から家賃を設定せずに、儲けに応じて事後的に家賃を決めるという制度である。

私の研究室では07年9月から学生たちと和歌山市の中心市街地のぶらくり丁で、半年間にわたり空き店舗を借りて、週末（金、土、日曜）にレンタルカフェという事業を実施した。

これは、学生たちがカフェのメニュー（しらす弁500円など）を企画し、市民の皆さんの協力を得てイベントを実施するというもの。市民は事前に予約すれば使用料無料で催しができるので、「レンタルカフェ」と名づけた。毎回ミニ演奏会などのイベントで盛り上げてくれるおかげで、150人から200人ほどの客に恵まれ、07年の末には過去の名作を放映する「NHKカフェ」、08年1月には裁判官が主催する「裁判官カフェ」など、毎週さまざまな事業を実施した。放置していればシャッター通りのままだったものが、市民の企画と共に蘇った。

この場所は知り合いの商店主の厚意で家賃と保証金が無料だから借りられたのだが、その後このカフェでの売り上げが週末3日1カ月のみで、約50万円になることが分かった。この売り上げから諸費用を差し引いても、2万円程度の家賃を支払うことができる。

この事業の成功は、個性的な食材（最初のS）、メニュー・値段決めのための状況分析（第2のS）、そしてこの応益家賃を導入した（第3のS＝リスク管理）ことによる。最初から相場の家賃、例えば月15万円に保証金が求められていたなら、リスクが高すぎて実現できなかった。

おそらく、現在のシャッター通りの多くは70年代の高かった家賃水準を思うあまり、高水準を維持しようとして、商売の機会を自ら奪っているのではないだろうか。

3つのSと家賃改革がシャッター通り再生のかぎと私は見ている。

あだち・もとひろ　68年、東京都生まれ。慶大卒業後、新聞記者を経てイギリスに留学。01年ケンブリッジ大大学院土地経済学研究科で博士号取得。国内約300カ所、海外約15カ国での調査をもとに、全国のまちの活性化に向けて、経済学や経営学の理論と現場をつなぐまちづくりを主テーマに研究。05年からは実際に、和歌山市の中心市街地活性化事業を、学生や市民とともに展開している。主な著書は「まちづくりの個性と価値～センチメンタル価値とオプション価値」「シャッター通り再生計画～明日からはじめる活性化の極意」など。

るるぶ 国内旅行予約 トラベル

あけましておめでとうございます。

「るるぶトラベル」は、昨年末に会員数150万人に達し、予約実績も順調に伸ばすことができました。
ひとえに、日々プランのご登録をいただいております宿泊施設の皆様のご協力に感謝しております。
ますます“カンタン便利に”進化する「るるぶトラベル」を今年もよろしくお願いします。

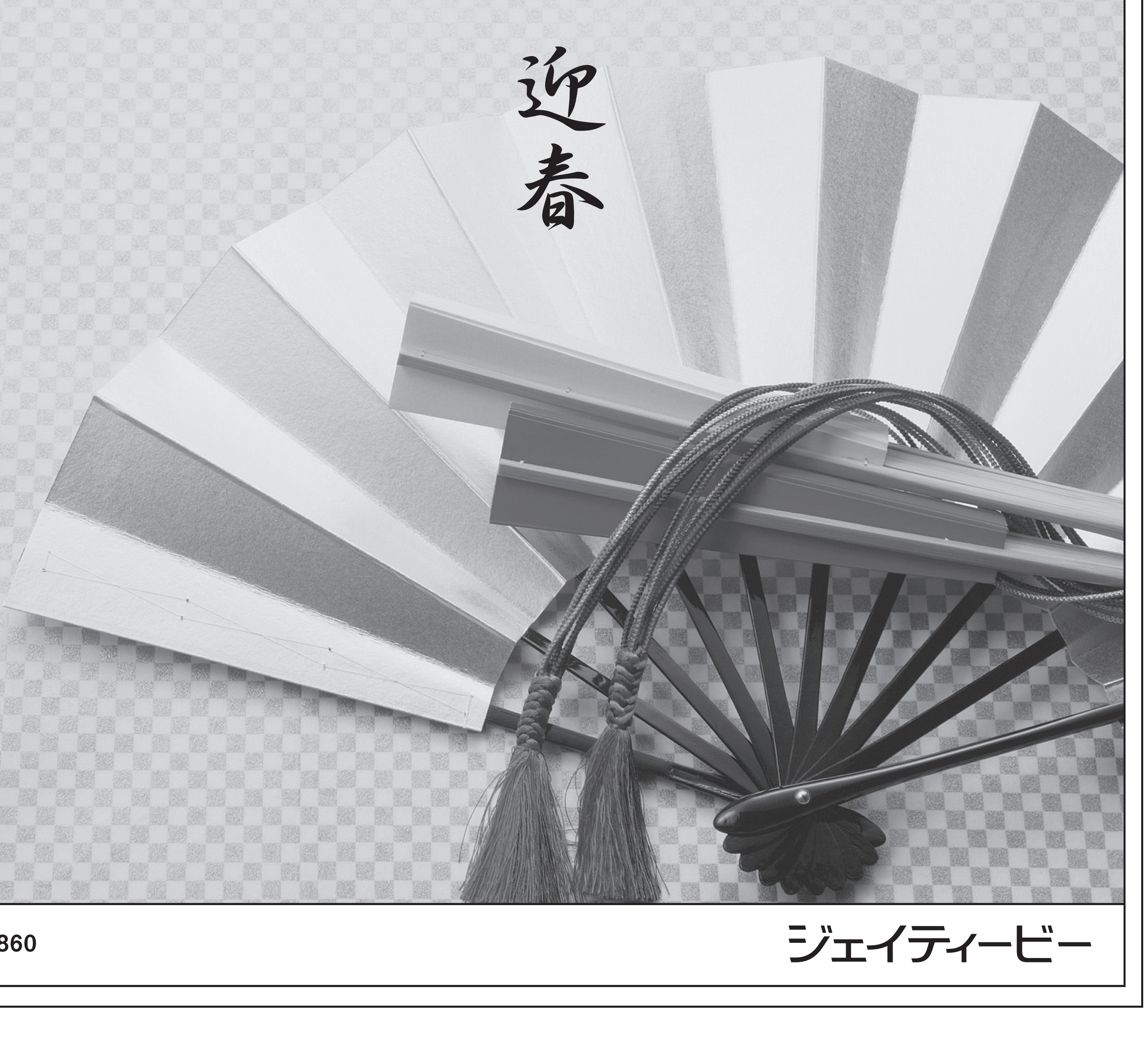
[以下の取組み強化をします。]

取組み1 るるぶトラベルサイトを強化します。
お客様に喜んでいただける使いやすいるるぶトラベルサイトづくりをめざして日々改善し続けます。
また、るるぶトラベルツアーもさらに拡充します。

取組み2 JTB情報管理ツールを強化します。
2011年2月に、宿泊施設のみなさまがより使用しやすくなるよう、全面リニューアルをいたします。

取組み3 告知宣伝を強化します。
るるぶトラベルの良さをもっとお客様に知っていただくために告知宣伝を積極的に行っていきます。
カップル、お友だち同士などレジャー旅行はもとより、ビジネスシーンなどでもご利用いただけることもアピールします。

2011年 元旦



※プラン登録・ご契約に関するお問い合わせは、各営業担当者 または i.JTB サポートセンターまで　TEL03-5796-5860

ジェイティービー